

第 61 回

日本アクチュアリー会 IT 研究大会プログラム

2022 年 2 月 18 日 (金)

2 月 4 日版



公益社団法人 日本アクチュアリー会
Think the Future, Manage the Risk

目次

開会式	1
IT 関係優秀論文の表彰	1
技術グループによる技術紹介	1
IT 研究会活動報告	2
最新 IT 技術調査・研究	5
Zoom による配信動画視聴方法	6
諸連絡	8

開会式

開会の辞	儀賀 信利 君	(IT 委員長)
挨拶	庄子 浩 君	(日本アクチュアリー会 理事長)

※「開会の辞」「挨拶」は大会専用ホームページに文書を掲載しご紹介のみとなります。

IT 関係優秀論文の表彰

- ・大会専用ホームページにて受賞論文をご紹介いたします。

技術グループによる技術紹介

- ・技術グループ2社（日本IBM株式会社、株式会社日立製作所）による、先端技術等を紹介したホームページへのリンクを大会専用ホームページに掲載いたします。

- ・IT 研究活動報告は Zoom による動画配信で実施いたします。事前登録後に自動配信される登録完了メールの「ここをクリックして参加」または URL をクリックしてご参加ください。事前登録方法については、「第 61 回 IT 研究大会のご案内」をご参照ください。
- ・動画配信は 2 度実施しますが、第 1 回と第 2 回は同内容です。ご都合のよい時間帯にご参加ください。
- ・質疑応答はメールにて実施致します。動画の内容に関する質問がございましたら、[大会専用ホームページ](#)に記載の問い合わせ先までお問い合わせください。
- ・ウェビナーID・パスコードを Zoom アプリに入力することにより参加も可能ですが、事前登録がお済みでないとお参加できませんので、必ず事前登録をお済ませください。また、ウェビナーID を利用して参加する場合、事前登録で入力したメールアドレスと Zoom アカウントのメールアドレスが一致している必要がありますのでご留意願います。

※動画配信を行う時間帯は、大会専用ホームページにアクセスしづらくなる可能性があります。その場合、ウェビナーID・パスコードは下記を参照ください。(大会専用ホームページに記載されているものと同じものです。)

・第 1 回 (10:30 ~ 11:55)

ウェビナーID : 831 8304 1303

パスコード : 8120222

・第 2 回 (17:00 ~ 18:25)

ウェビナーID : 818 2106 7832

パスコード : 8120223

1. 「ゼロトラスト」を前提としたサイバーセキュリティ対策

IT 研究会第 1 グループ

担当委員	トーマツ 富国生命	長瀬 正憲 君 山本 直彦 君		
研究メンバー	朝日生命 富国生命 プルデンシャル生命 ニッセイ情報	福村 有里子 君 日下 俊一郎 君 今井 雄孝 君 剣持 星二 君	大樹生命 太陽生命 損保料率機構 MS&AD システムズ	立川 倫太郎 君 廣木 佳祐 君 田島 顕文 君 近藤 智之 君

■要旨

近年、企業を取り巻く IT 環境は、高度化するサイバー攻撃による脅威・リスクの高まりに加え、DX 推進やワークスタイル多様化によるクラウドサービス・テレワークの利用が急増している。これら背景により、従来の境界型セキュリティモデルでは新たな IT 環境に対するセキュリティ強化や利便性・柔軟性の向上に対処することが難しくなっているため、今後は各企業において「ゼロトラスト」の導入・拡大が予想される。

我々第 1 グループは、保険会社の業務システムにおける「ゼロトラスト」を前提としたサイバーセキュリティ対策のあり方について研究を進めた。「ゼロトラスト」とは何か、どのような効果が見込めるのか、移行へのステップや導入後の運用はどうあるべきか等を考察し、導入を提言する。

2. IT 部門とユーザー部門のすみわけとこれから必要となる IT 人材

IT 研究会第 2 グループ

担当委員	三井住友信託 ブルデンシャル生命	森谷 雅史 君 勝海 宏 君		
研究メンバー	明治安田生命 アクサ生命 ニッセイ情報 太陽生命	吉川 琢郎 君 坂井 俊介 君 北 朋晃 君 伊藤 晋 君	富国生命 AIG 損害 ニッセイ情報 アフラック生命	小林 愛佳 君 松下 志麻 君 北森 尚哉 君 鈴木 基雄 君

■要旨

近年の IT 技術の発展やクラウド事業者が提供するサービスの充実により、ユーザー部門においてもシステム構築を行う傾向が強くなっている。このような背景を基に、我々第 2 グループでは、IT という分野を「これまで通り IT 部門が主体となる領域」「IT 部門が注力すべき領域」「ユーザーの支援に回るべき領域」「ユーザー部門に委ねるべき領域」と 4 つの領域に分け、それぞれの領域ごとにどのようなスキルや役割が求められているかについて、研究を進めた。その研究内容から今後の IT 人材として培っていくべきスキル、コンピテンシーを考察する。

3. 保険会社標準の API 基盤

IT 研究会第 3 グループ

担当委員	ニッセイ情報 太陽生命	村本 尚平 君 昔農 康浩 君		
研究メンバー	朝日生命 損保料率機構 住友生命 大同生命	中山 知晴 君 華山 彩子 君 秋田 祐里 君 山本 悟司 君	SOMPO ひまわり生命 SOMPO ひまわり生命 ニッセイ情報 ニッセイ情報	戸田 龍 君 金田 幸男 君 大森 喜由 君 齊藤 裕子 君

■要旨

近年、マイナンバーや電子カルテなど様々なデータがデジタル化しているが、現在の保険業界の業務は書面やコールセンター等を介して行われていることが多い。顧客にとってより便利に各種手続きが行えるようにするためには保険会社標準の API 基盤を構築することが有効であると考えられる。

我々第 3 グループでは、保険業界の業務のうち、「保険金/給付金請求」「照会系サービス」「販売促進」等の観点で、現状の課題を整理し、あるべき姿に近づくための方法を検討した。その方法の一つとして保険会社標準の API 基盤を構築することを提言する。

4. 新たな開発手法・技術等を活用した金融・保険会社による「新たな価値・サービス」の提供

IT研究会第4グループ

担当委員 三菱 UFJ 信託 三原 洋一 君
第一生命情報システム 竹内 仁 君

研究メンバー 富国生命 渡辺 映 君 大同生命 臼井 知広 君
アフラック生命 菊池 哲郎 君 プルデンシャル生命 藤村 容子 君
ニッセイ情報 山崎 祐介 君 第一生命情報システム 秋山 裕美子 君
ニッセイ情報 太田 翔馬 君 あいおいニッセイ同和損保 胡 克龍 君
ニッセイ情報 坂田 大輔 君

■要旨

昨今、社会全体が「多様な生き方」を後押しする時代になりつつある。保険業界においても、多様化する人々の生き方に合わせられるよう、画一的な商品ではなく、個々人に合わせて最適化された商品・サービスの提供が求められている。

我々第4グループでは、保険業界における新しい開発手法・技術等を俯瞰的に整理する中で、内閣府が提唱する未来社会のコンセプト「Society5.0」にこの個々人に合わせて最適化された商品・サービス提供へアプローチするヒントがあると考えた。Society5.0 で実現される社会の中で、特に新技術「デジタルツイン」におけるビッグデータ・AIシミュレーションに着目し、これらを活用した「新たな価値・サービス」について具体例を交えて提言する。

5. ニューノーマル下における保険会社の IT 戦略

IT研究会第5グループ

担当委員 大同生命 依藤 洋幹 君
ニッセイ情報 大八木 文人 君

研究メンバー 大同生命 小松 正拓 君 大同生命 山下 真輝 君
ニッセイ情報 山村 豊 君 ニッセイ情報 杉本 範子 君
ニッセイ情報 乾 秀斗 君 住友生命 松田 拓也 君
住友生命 金澤 一輝 君 住友生命 結城 史友 君
住友生命 鈴木 駿 君

■要旨

新しい生活様式=ニューノーマルは今までの社会・消費者生活を一変させた。保険営業についても例外ではなく、感染防止を第一に考えた保険営業を余儀なくされる状況にある。

我々第5グループでは、コロナ前（Before）から現在（Now）までの事象を整理し、課題部分は解決策を、伸長部分はより伸長するための付加価値を検討することで、やがて来るであろう With/After コロナ時代（After）に向けての保険業界における IT 戦略や具体的活用法を「新規顧客の開拓」「お客様サービスの向上」「業務負荷・改善」3つの観点から検討・提言する。

- ・最新 IT 技術調査・研究の発表は Zoom による動画配信で実施いたします。事前登録後に自動配信される登録完了メールの「ここをクリックして参加」または URL をクリックしてご参加ください。事前登録方法については、「第 61 回 IT 研究大会のご案内」をご参照ください。
- ・動画配信は 2 度実施しますが、第 1 回と第 2 回は同内容です。ご都合のよい時間帯にご参加ください。
- ・質疑応答はメールにて実施致します。動画の内容に関する質問がございましたら、[大会専用ホームページ](#)に記載の問い合わせ先までお問い合わせください。
- ・ウェビナーID・パスコードを Zoom アプリに入力することにより参加も可能ですが、事前登録がお済みでないとお参加できませんので、必ず事前登録をお済ませください。また、ウェビナーID を利用して参加する場合、事前登録で入力したメールアドレスと Zoom アカウントのメールアドレスが一致している必要がありますのでご留意願います。

※動画配信を行う時間帯は、大会専用ホームページにアクセスしづらくなる可能性があります。その場合、ウェビナーID・パスコードは下記を参照ください。(大会専用ホームページに記載されているものと同じものです。)

・ **第 1 回 (9:30 ~ 10:25)**

ウェビナーID : 874 1119 3333

パスコード : 8120221

・ **第 2 回 (18:30 ~ 19:25)**

ウェビナーID : 899 8546 0856

パスコード : 8120224

1. デジタルツインで実現する機器の故障リスクマネジメント

発表者 日立製作所 植木 洋輔 氏

■要旨

製造業やエネルギー事業など、機器や設備の利用を前提とした事業のレジリエンス強化には、これらアセットの故障リスクマネジメントが重要である。近年では、AI や IoT を活用した故障予測に代表される保全技術が登場し、リスクマネジメントも高度化が進んでいる。本発表では、特にデジタルツインを活用した機器の故障リスクマネジメントソリューションについて紹介する。ここでのデジタルツインとは、機器の稼働状態や故障発生を計算機上で再現する、IoT データによって駆動されるシミュレータである。風力発電機や化学プラント機器などでの取り組み事例や、オンラインでの故障予測や故障事象発生時の第三者への自動通知を実現するクラウド型サービスについても紹介する。

2. ビジネスモデルの変革を支えるアーキテクチャーの最新動向

発表者 日本 IBM 久波 健二 氏

■要旨

本動画は、日本アイ・ビー・エム株式会社が 2021 年 9 月に開催した保険 DX セミナーの中の 1 セッションです。「変化を乗り越える保険サービス」というテーマを掲げ、保険業界のアーキテクチャーパターンを説明しています。はじめに、DX への取り組み状況について、保険業界と他の業界との比較結果を報告しています。また、生保と損保の間では、基幹システム刷新の観点で傾向の違いが確認できることを解説しています。次に、各社のビジネス戦略に応じて選択すべき 3 つのトランスフォーメーションパターンを明示しています。最後に、クラウドを基軸とする保険業界のアーキテクチャーを整理しています。

Zoom によるライブ配信視聴方法

1. Zoom ウェビナーログイン方法

- ・登録後に自動配信される登録完了メールより Zoom ウェビナーにログインいただけます。
- ・登録完了メールの「ここをクリックして参加」または URL をクリックすると Zoom が起動します。画面中央にポップアップが表示されましたら「コンピューターでオーディオに参加」をクリックしてウェビナーにご参加ください。
- ・初めて Zoom をご利用される場合は、予めデスクトップアプリをダウンロードしておかれることをお勧め致します。Zoom アプリは、[こちら](#)からダウンロードできます。
- ・Zoom アプリをインストールせずに Web ブラウザでウェビナーに参加いただくことも可能です。その場合、上記 URL を Web ブラウザに直接貼り付けて Zoom Web クライアントからご参加いただけます。
- ・ウェビナーID を利用して参加する場合には、Zoom アプリを起動し、「ミーティングに参加」または「参加」をクリックし、大会専用ホームページ（または本プログラム）に記載のウェビナーID・パスコードを入力してください。

2. ご視聴にあたってのお願い

- ・パソコンでのご視聴をお勧め致します。スマートフォンからの視聴も可能ですが、スマートフォンで視聴する場合には資料が見にくい可能性がございますので予めご了承ください。
- ・有線、もしくは安定した Wi-Fi 環境下でご視聴ください。
- ・視聴環境下の接続状況に問題がありますと、通信が中断してしまう事がありますので予めご了承ください。

3. うまくログインできないときの対処法

(1) VPN 接続を解除する

個々の企業のセキュリティ設定によっては、Zoom へのアクセスが制限されていることがあります。VPN 接続を解除することが可能な場合は、VPN をオフにして再度接続してください。（例：Pulse Secure 等）

(2) 個人の PC もしくはモバイルから接続する

会社の PC において VPN 接続の解除が許可されていない場合、または上記の方法でも接続ができない場合、個人の PC もしくはモバイルからの接続をお願いいたします。登録確認メールを個人の PC に転送し、同じリンクよりログインしてください。個人のメールアドレスで登録しなおす必要はございません。

Zoom によるライブ配信視聴方法

4. ご利用環境について

対応 OS

- ・ macOS X と macOS 10.9 以降
- ・ Windows 10*, Windows 8 または 8.1, Windows 7
- ・ *Windows 10 デバイスは、Windows 10 Home、Pro または Enterprise を搭載している必要があります。S モードはサポートされていません。

対応デバイス（タブレット・モバイル）

- ・ Win8.1 以降の Surface PRO 2 以降
- ・ iOS と Android デバイス
- ・ Blackberry デバイス

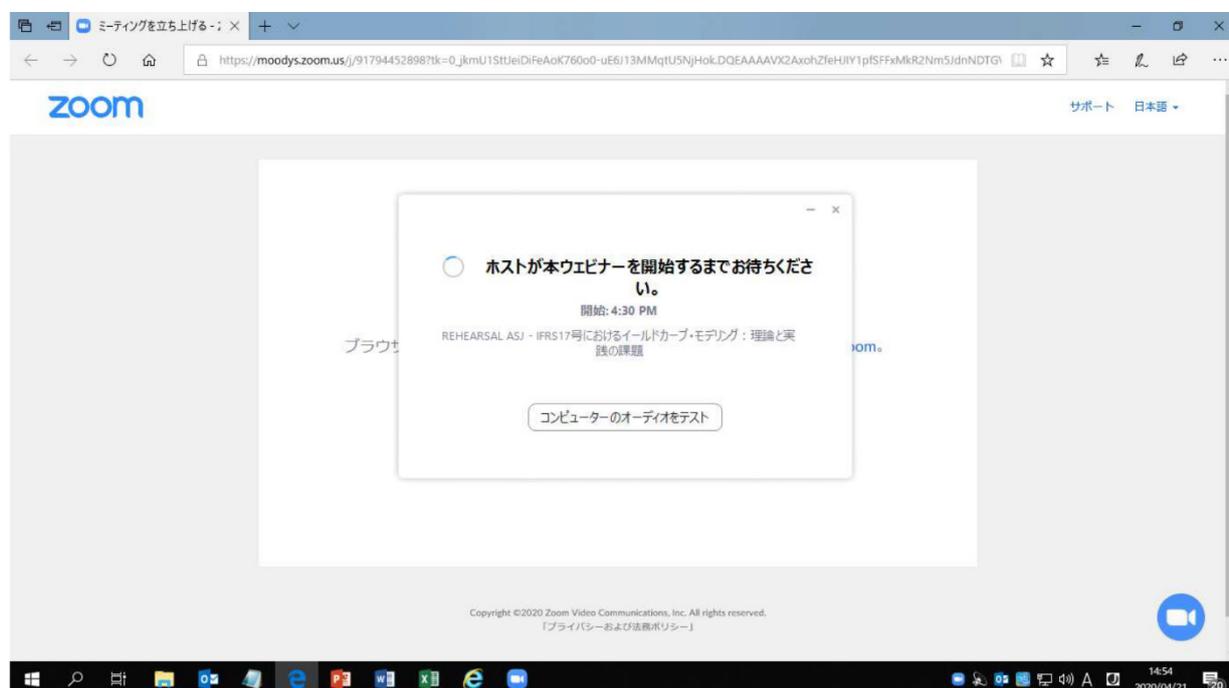
対応ブラウザ

- ・ Windows: IE 11+, Edge 12+, Firefox 27+, Chrome 30+
- ・ Mac: Safari 7+, Firefox 27+, Chrome 30+
- ・ Linux: Firefox 27+, Chrome 30+

上記以外の OS、デバイス、およびブラウザをご利用の方は[こちら](#)をご参照ください。（日本語）

※Zoom 利用にあたっての注意点

記載の URL をクリックまたは Zoom アプリを起動してミーティング ID・パスコードを入力すると、ウェビナー開催までは以下の画面が出ますが、この状態は Zoom にログインできたわけではありません。



ログインできるかどうかは、直前までわからないこともありますので、上記3.に記載の方法をすぐに試せるようご準備ください。

○継続教育単位について

- ・継続教育要綱に基づき、IT 研究会活動報告の受講は、正会員の継続教育の対象です。
- ・プログラムにおける〇〇単位<〇〇>は、公式 CPD 単位数および分野を表します。

○正会員の出席確認について

- ・正会員を対象に、当日のアクセス情報を用いた出欠確認を行います。
事前登録の際に入力いただいた会員番号が誤っていた場合、出席の確認ができませんのでご注意ください。

○eラーニングへの動画掲載

- ・IT 研究会活動報告は IT 研究大会後一定期間、eラーニングシステムにて動画配信する予定です。公式 CPD 単位として申請する場合には、200 字程度のレポートの提出が必要です。
なお、Zoom ウェビナー配信と eラーニング（動画掲載）は同様の内容であり、重複して単位は取得できませんのでご注意ください。

○その他

- ・当日の配信映像・音声の無断での録画・録音・供覧は行わないようお願い致します。